

異なるジャンルの融合が織りなす

「音楽とダンスが

この秋、和歌山県内4会場で開催される公演「音楽とダンスが会える夢の旅～響きの先のあしたへ～」。クラシック音楽と現代ダンスという、異なるジャンルの融合から生まれる相互理解や対話を、「いのちの共鳴の体感」へと昇華する、まったく新しいプログラムです。出演者と観客が豊かに交流する、かつてない感動の舞台を紹介します。



出演者(左から) セレノグラフィカ(コンテンポラリーダンス) 隅地 茉歩 Maho Sumuji(振付家・ダンサー) 阿比留修一 Syuichi Abiru(ダンサー) 「身体と心に届くダンス」をモットーとし、関西を拠点に活動するダンスカンパニー。緻密な身体操作から繰り出される不思議かつ愉快なダンスが多くの世代に受け入れられている。アウトリーチの経験も豊富。TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD2005 「次代を担う振付家賞(グランプリ)」受賞。

北島 佳奈 Kana Kitajima (ヴァイオリン) 和歌山市出身。京都市立芸術大学卒業、同大学院首席修了。フライブルグ音楽大学に留学。大衆文化奨励賞受賞、アゼリア賞、和歌山市文化奨励賞受賞。世界的指揮者・佐渡裕氏が芸術監督を務める兵庫芸術文化センター管弦楽団に2005年の設立時より在籍。和歌山キッズオーケストラ代表。

上野 絵理子 Eriko Ueno (ピアノ) 和歌山市出身。京都市立芸術大学・同大学院修了。国内外のコンクールで受賞歴多数。現在ソロ・室内楽奏者として演奏活動を展開。四天王寺大学、和歌山信愛女子短期大学非常勤講師。

アウトリーチの感動をステージで

和歌山県では、かつらぎ町・上富田町・串本町及び(一財)県文化振興財団と共に、和歌山県内の公共ホールの企画・制作能力の向上等を目的として、(一財)地域創造の「公共ホール創造ネットワークモデル事業」を活用して実施しており、昨年度は3町の小学校をアーティストが訪問し、子どもたちと交流する「アウトリーチ」に取り組みました。

参加したアーティストは、地域創造の登録アーティストであるヴァイオリニスト・北島佳奈さん、ダンスカンパニーのセレノグラフィカさん。そしてピアニストの上野絵理子

さんです。「当初、クラシック音楽と現代ダンスという異なるジャンルの融合が、どのような結果をもたらすのか未知数でした。しかし、セレノグラフィカさんの動きに五感を呼び覚まされた子どもたちが、ヴァイオリンの音色に導かれるまま輪になって舞いはじめると、互いのいのちが響き合う、『輝きに満ちた奇跡の瞬間』が訪れました」(北島さん)。

今回の4公演は、アウトリーチでの感動を、一般の皆さまにもお届けする舞台です。ぜひご家族やお友だちと一緒に、会場へお越しください。

■チケットの詳細は4・5ページをご覧ください

輝きに満ちた舞台

「出会う夢の旅」

特別対談

出演アーティストの北島佳奈さん、セレノグラフィカのお二人に、アウトリーチをふり振り返りながら、公演にかける思いを語っていただきました。(敬称略)



——音楽とダンスという異なるジャンルを融合させていく過程で、どんなことを感じましたか。
隅地 音楽は音楽、ダンスはダンスだと思っただけですが、根っこは一つだと気づきました。歌いたいときに歌ったり、踊りたいときに踊ったり。原点は同じなんです。阿比留 北島さんたちが自らの身体を使って演奏した音、それが耳だけにじゃなく全身に吸い込まれていくうちに、自然と身体が動いてダンスになる。そんな体験をしま

夢に向かって頑張る子どもたちに
パワーを届けたい(北島)

した。生演奏でなくては得られない感覚でした。北島 お二人がこどもたちとダンスで作り上げた空間に、私が演奏で加わるシーンがあったんです。私が音を出し、それを聞いたことも私たちの動きが変わり、またその様子を見ながら音を出し、さらに表情や息づかいが変化し、また音を出す。音は目に見えないものですが、その時、こどもたちを通じ、音を見ることができました。——今回のプログラムは「対話」が一つのキーワードでした。北島 全身全霊で音を紡いで差し出すこと、これがお二人との対話だ



音楽もダンスも
根っこは一つ。原点は
同じなんです(隅地)



分かりにくさが
かえって好奇心を生む
不思議な舞台(阿比留)

ています。隅地 対話って一人でできませんよ。同じように、アウトリーチのテーマだった「追いかけて」もそうです。誰かが誰かを越えていって、また越されていって。今回

——アウトリーチでの感動をちりばめた秋の4公演も間近です。読者にメッセージを。
阿比留 クラシック音楽と現代ダンスと聞くとも敷居が高そうに思いますが、思わぬ笑ったり、不思議に感じたりする舞台になります。分かりにくさがかえって好奇心を刺激し、新しい体験や可能性が生まれればいいですね。

世界に飛び込んで来られるお客様に、「また明日から頑張ろう」と思ってもらえるパワーをお届けしたい。公演のタイトル「夢の旅」の「夢」は、私にとって「希望」を意味します。それぞれの夢に向かって頑張っているこどもたちや、それを応援している大人たちにパワーを発信し、皆さんの希望の源になればうれしいです。

のプログラムは、コミュニケーションの一番基本のところから始まっていると改めて感じました。この体験をこどもたちと共有できたことが何より幸せでした。

隅地 きつと誰も予想していないような公演になると思います。「えーっ、こういうことするの?」でもそれもアリ!」っていう。予想とは違っていたけれど満足して帰っていただけ、そんな舞台を目指しています。北島 私はアウトリーチでパワーをいっぱいもらいました。今度は、コンサートという非日常の



北島さんとセレノグラフィカのお二人のコラボレーションによる、アウトリーチのプログラム「音楽とダンスの追いかけて」は、昨年10月～12月、県内14校で実施されました。(2023年10月、上富田町立岩田小学校)